



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

第11号

発行日 平成22年3月31日

〒960-1295 福島市光が丘1番地/TEL (024) 547-1111(代) ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

患者さんとそのご家族の皆様へ ～安心できる“かかりつけ医”の制度～



地域連携部長 青田 恵郎

国がすすめる医療政策の一つに、“かかりつけ医”の制度があるのはご存じでしょうか。現在の日本の医療では、地域の中で病院と診療所（かかりつけ医）がその役割を分担しながら、適切な医療を患者さんに提供して

いくことが求められています。

かかりつけ医の制度とは、日頃の健康管理や通院での加療は診療所のかかりつけ医で、専門的な医療が必要な場合には適切な病院をかかりつけ医から紹介してもらい診断や治療を受けるというシステムです。

かかりつけ医を持つことのメリットは、患者さんの都合にあわせた受診や、ご家族の健康についても相談ができることです。また、様々な福祉サービスも受けられ、いざという

きは往診や、専門的な医療が必要な時にはいつでも病院に連絡をとり迅速な対応をしてもらえます。かかりつけ医を持つと、かかりつけ医と病院の医師2人で患者さんを病気から守るということにもなります。

このようなかかりつけ医の制度を福島医大病院でも推進しており、患者さんにとって安心できるかかりつけ医が持てる環境の整備をしております。まずは、整形外科でかかりつけ医のシステムを取り入れる予定です。かかりつけ医について質問やご相談がありましたら、地域連携部、または医療連携・相談室へお問い合わせください。

第11号のなにかみ

- 2ページ……
- 形成外科の診療について
 - 助産外来が始まりました
 - メニュー紹介
- 朝から緑黄色野菜を! —

- 3ページ……
- 病気のまめ知識
 - 「新型インフルエンザと季節性インフルエンザ」
 - 「きいてください 院長さん」投書箱から

- 4ページ……
- 内視鏡診療部・呼吸器内科の移転について
 - 病院ボランティア「けやきの会」りれー通信9

主治医が二人いる安心



医大病院医師と「かかりつけ医」が協力してあなたを見守ります。

医大病院から地域の「かかりつけ医」(近くの診療所・クリニック)へ紹介

連携

地域の「かかりつけ医」(近くの診療所・クリニック)から医大病院へ紹介

病診連携とは？

専門的な検査や入院が必要な場合は「かかりつけ医」(診療所・クリニック)から医大病院へ、症状が安定したら医大病院からまた「かかりつけ医」へ、患者さんの状態に合わせて最適な医療が受けられるようにしていくこと。それが病診連携です。

病=病院 診=診療所(クリニック)

特定機能病院とは？

医大病院は地域の基幹病院として、高度かつ専門的な医療を行う「特定機能病院」です。医大病院での専門的検査・治療が行われましたら、地域の医療機関を紹介させて頂くこととなります。質の高い医療を行うことを目的に、厚生労働省は医療機関の役割分担を進めています。医療機関それぞれが機能を果たして、患者さんに適切な医療を行うために「かかりつけ医」との連携を推進しています。

主海区内お気軽にご相談下さい
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院
お問い合わせ/地域連携部 TEL.024-547-1885

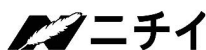
私たちの事業は、
医療と介護、そして教育の「三位一体」
3つが力を合わせながら、やさしさを強さに、思いをかたちに。

医療関連
事業

ヘルスケア
事業

教育事業
医療事務講座・
ホームヘルパー養成講座 他

株式会社 ニチイ学館 福島支店
TEL. 024-524-2835
〒960-8031 福島県福島市栄町6-6 UNIXビル3F



マチのほっとステーション

LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店(エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店(福利厚生棟内)

形成外科の診療について

形成外科学講座 上田 和毅

形成外科は、昔から整形外科とどうちがうのか？ と聞かれます。医療関係者でも年配の方には知らない方がけっこうおられますが、それは形成外科が新しい科であるため、授業や講演会などで内容を知る機会が少なかったからです。確かに日本で形成外科の診療が始まってからまだ今年でちょうど50年目ですから無理もないかもしれません。

扱う病気が、けが・やけど・腫瘍（できもの）・ケロイド・潰瘍・生まれつきの変形・顔面の麻痺・リンパ浮腫など多様なため活動内容を捉えにくいのですが、要するに、今挙げた様々な病気によって失われた皮膚・脂肪・筋肉・頭蓋顔面骨を形態的・機能的に正常に戻す仕事をしております。この「形態的」

という所が重要で、他の科でわれわれほど形態にこだわる科はないようです。そのために、時間をかけて皮膚を細かく縫ったり、顕微鏡を使って1mm以下の細い血管をつないだりします。形成外科で扱う病気であるかどうかわからなかったら、お気軽にメールや電話でお問い合わせください。



助産外来が始まりました —助産外来をご存じですか？—

専門助産技師兼看護技師 新井 昌子

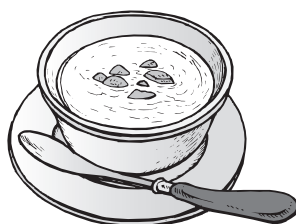
福島医大病院では平成21年10月から助産外来を開始しました。これまで医師が行ってきた妊婦健診を助産師が行う外来です。母親の主体性と母児の繋がりを重視し、自ら産んで育てる力を引き出すことを目標に、毎週火曜日、木曜日の午後に外来を開いています。ご主人やご両親、お子様と一緒に、ゆったりとした雰囲気の中で時間をかけて丁寧に健診を行うことが特徴です。リスクの低い妊娠16週以降の妊婦さんが対象となり、必要に応じて医師と連携をとっていきます。もちろん妊婦健診の助成券も使用できます。完全予約制で、お一人につき30分、ゆっくり診察を受けながら、お話をしてみませんか？



メニュー紹介 —朝から緑黄色野菜を！—

ビタミンの豊富な緑黄色野菜は一日の始まりの朝食にぜひ摂りたい食べ物です。このかぼちゃのスープはひと手間をかけると大変おいしいし、意外にヘルシーなスープで赤ちゃんからお年寄りまで好まれると思います。

前の日に作って冷蔵庫に保管しておけば、忙しい朝でも大丈夫。ぜひお試しください。



～かぼちゃの冷製スープ～

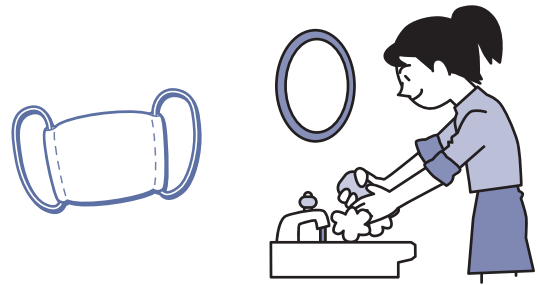
- 【材料】 かぼちゃ 250g、トマト 150g、固形スープの素 2個、牛乳 300cc
- 【作り方】 かぼちゃは皮をむき適当な大きさに切り、鍋にトマト、スープの素を入れて煮込み、裏ごしにかける。これを牛乳で適度にのぼし、冷蔵庫で冷やす。
- 全量で エネルギー 483kcal たんぱく質 16.5g 脂質 12.9g

感染制御・臨床検査医学講座 金光 敬二

2009年春に米国、メキシコから始まった新型インフルエンザの流行は数ヶ月後には世界中に広まりました。日本では毎冬、季節性インフルエンザの流行が見られますが、新型とどう違うのでしょうか？ まず、原因となるインフルエンザウイルスの遺伝子が異なります。新型では、遺伝子の一部にブタインフルエンザウイルスの遺伝子が含まれていました。当初、ヒトはこのウイルスと遭遇するのは初めてであり、季節性とは異なる合併症あるいは罹患した場合に重症化する可能性が危惧されました。しかし、現在までに新型も季節性と概ね同等と考えられるようになりました。

一方、高熱、咳、咽頭痛、筋肉痛などの症状は、新型も季節性も同様ですので区別できません。日常診療

でよく使用されている検査でも区別はできませんが、特殊な検査で区別することが可能です。いずれにせよ、新型も季節性も罹らないような対策を講じることが重要です。どちらも、飛沫感染（咳やくしゃみなどのシブキ）と接触感染（主に手を介する）で伝播します。よって、マスクと手洗いをすることで感染する危険性を低下させることができます。



「きいてください 院長さん」 投書箱から



福島医大病院は昭和62年に光が丘に新築移転してから22年以上経過し、いろいろな点で患者さんにご不便をおかけすることが多くなってきております。

「きいてください院長さん」にも「病院の施設・設備」に関する要望が多く寄せられ、少しずつではありますが、改善、改修に努めているところです。

特に、トイレ、風呂については計画的にバリアフリー化を進め、患者さんの利便性、快適性の向上を図って行きたいと考えております。

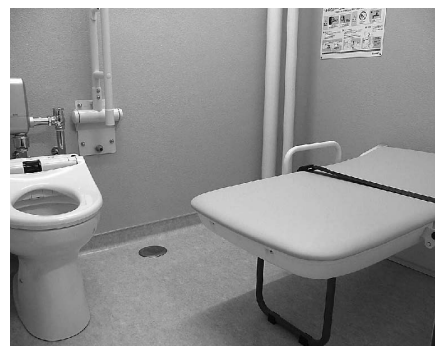
先日は「トイレに大きなおむつ替え台があると、楽に、安全におむつ替えができるので検討をお願いします」というご意見が寄せられました。大きなお子様や高齢者の方のおむつ替えができる台の設置については、以前よりご要望があり、設置場所を検討しておりましたが、1階売店前の多目的トイレ、及び2階東側性差医療センター近くの男子用・女子用トイレの3箇所に設置いたしました。

これからも患者さんのご要望を聞きながら、施設・設備の改修を進めてまいりますのでご遠慮なくご意見をお寄せください。

*** シートを広げた状態はこちらのとおりです ***



1階
ローソン側
多目的トイレ



2階
性差医療センター側
男子用トイレ

お知らせ

大学・病院敷地内の樹木や草花の名前、開花時期をご紹介します『福島県立医科大学おさんぼマップ』を会計前ホールのパンフレットスタンドにご用意しております。暖かくなりましたらぜひ、マップを手にお花見散歩をお楽しみください。



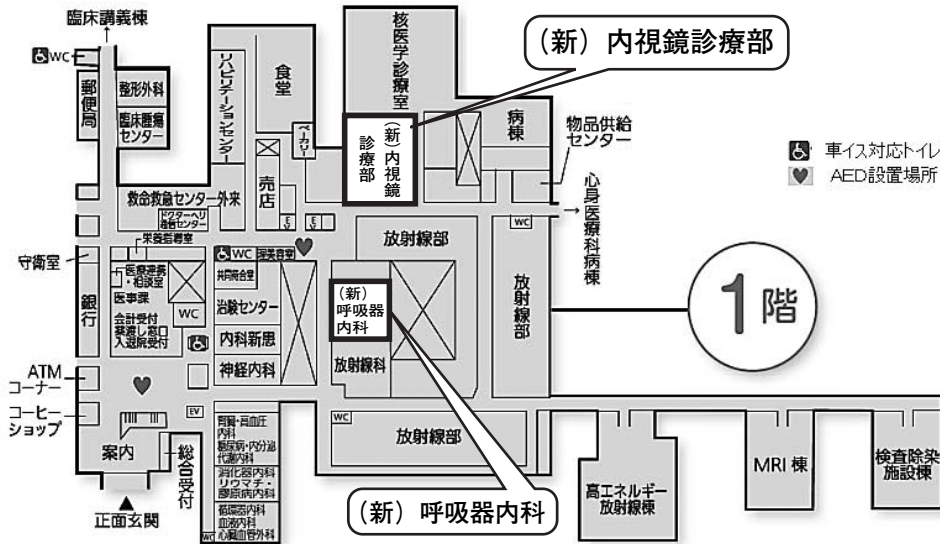
内視鏡診療部・呼吸器内科の移転について

内視鏡診療部が平成22年1月12日に、今までの放射線受付の隣から、CT室むかいへ30mほど移転しました。

内視鏡診察の患者さんの増加に伴い、診療スペースが非常に手狭になったことや、プライバシー確保を図るために個室化と診療スペースの拡大により、よりリラックスして受診できる

施設といたしました。トイレも車いすでの利用も可能とするなど、機能を向上させております。

なお、旧内視鏡診療部の場所には、3月23日に呼吸器内科外来が移転しました。こちらも移転に際し、診察ブースを3室から4室に増やすなど、診療機能の向上を図っております。



病院ボランティア「けやきの会」 りねー通信 9

私とボランティア 山口 祐子

「おはようございます」このひと言から私のボランティアがはじまります。

私がボランティアとの関わりを持ったのは、八年前の自分の病気がきっかけでした。病気を克服したものの、毎日が沈みがちで暮らしていました。そんな時、息子に「何かやってみたら?」と言われた事が、はじまりでした。

入院中には、緑のエプロンをしたボランティアの方たちが、生き生きと活動していました。私もその一員になれば、少しでもお役に立てれば...そんな気持ちでお願いしたところ、「すぐにお願ひします」という事で、入会できました。最初は どうしていいかも分かりませんでしたが、先輩方の動きを見る

たび、自分でもこう接すれば、患者さんに満足いただける、という事が分かり、段々慣れるに従って私には「合っているのかな」と思い、今日にいたっています。患者さんはいろいろな方がいらっしゃいます。

「ご苦労様だネ!」と言われると、うれしくなり、また、時には落ち込む事もありますが、私は身体の許すかぎり、ボランティアを続けたいと思っています。

幸い、身体も、早期発見・早期治療により、今では前にもまして丈夫になり、元気に活動しています。先生方、看護師の皆さんには感謝しています。今日も私は、お帰りの患者さんに声をかけます。「お大事にどうぞ」と...



こころときめいて、くらしかがやいて。

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは 福島医大病院支店

窓口営業時間: 平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間: 平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時~20時
土日祝 9時~19時

アメリカシアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

